

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団
第 31 回理事会議事録

1. 開催日時：令和 7 年 10 月 21 日（火）午前 10 時 00 分
2. 開催場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3 階 会議室 8
3. 出席者：
 - (1) 理事総数 10 名
 - 出席理事 9 名
 - 会長 尾縣 貢
 - 副会長 中村 倫治
 - 事務総長 武市 敬
 - 理事 田嶋 博道（Web 出席）、野口 みづき（Web 出席）、
広瀬 史乃、八木 由里、來田 享子（Web 出席）、
渡邊 知秀
 - (2) 監事総数 2 名
 - 出席監事 2 名
 - 工藤 陽子、渡邊 剛

4. 議事

- (1) 報告事項
 - ・大会の開催結果について
 - ・ボランティア活動実績（速報値）について
 - ・業務執行理事の職務執行状況の報告について
- (2) その他

5. 理事会の議事の経過の概要及び結果

上記のとおり本理事会は定款第 36 条の規定に定める定足数の出席があったので、定刻、会長が議長席に着き開会を宣し、下記報告事項の報告に入った。

なお、本理事会は Web 会議システムを併用して開催しており、Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時適確な意見表明が互いにできる状態となっていることを開会前に確認している。

（1）報告事項 大会の開催結果について

大会の開催結果について、武市事務総長から資料 1 に基づき報告がなされた。中村副会長より「今大会におけるガバナンス確保の徹底や、公募によるスポンサーの獲得などは、今後の国際大会のモデルとなるような新たな取組であったと思う。また、東京ならではの様々な工夫やきめ細やかな対応、都民・国民の理解・協力を得ながら運営を行うといった面があった一方で、様々な課題も生じたかと思うので、そうした課題の整理も含め、大会で得た知識・経験をレガシーとして次に繋がるものにして欲しい」、渡邊理事より「職員の帰任や組織の縮小などが始まっていると思うが、大会に関する物品や財産、文書などをしっかりと整理した上で残していくことが重要。それと同時に、債権債務の整理も適切に進めて欲しい」との意見が述べられた。

（2）報告事項 ボランティア活動実績（速報値）について

ボランティア活動実績（速報値）について、事務局から資料 2 に基づき報告がなされ、了承を得た。

（3）報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告について

業務執行理事の職務執行状況の報告について、事務局から資料 3 に基づき報告がなされ、了承を得た。

以上をもって全報告事項の報告が終了し、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく終了したので、議長は、午前 11 時 00 分に閉会を宣し、解散した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 39 条第 2 項の規定に基づき、出席した会長及び監事が以下に記名押印する。

議長兼議事録作成者 会長 尾縣 貢

令和 7 年 10 月 21 日
公益財団法人東京 2025 世界陸上財団